

# そなれ松のように

令和5年度  
銚子市立高神小学校だより  
令和5年7月20日  
VOL. 22

## いよいよ明日から夏休みです！

本日1学期終業式の「校長先生の話」の中で、私は次のような話をしました。

(前略)

校長先生は、今でも6年生の夏休みが忘れられません。なぜなら、その年には一人で東京駅から九州の長崎駅までおじいさんの家を訪ねて帰省したからです。長崎県がどこにあるかは、あとで先生に聞くか、自分で調べてみてください。

東京駅から長崎駅までの距離は、鉄道で1300kmくらいあります。当時は寝台特急「さくら」という電車が走っていて(カッコよく言うとブルートレインというものです)、夕方の4時半頃東京駅を出発して、翌日の12時(お昼くらい)に到着する電車でした。東京駅までは先生のお父さんやお母さんが送ってくれて、長崎駅には叔父さんたちが迎えに来てくれたのですが、電車の中は一人でした。一人で食事をして、夜には電車の中で寝て(ブルートレインという電車は座るところが夜には二段ベッドや三段ベッドになって寝てもいいように変形するんですね)、朝には一人で起きるという経験をしました。5年生までの間に、家族で何回かブルートレインに乗っていて、やり方は分かっていたので、6年生にもなったし一人で行ってみるかということになったのです。

電車に乗っている間、寂しかったかって? 全然そんなことはありませんでした。一人で旅行しているという高揚感(ワクワク、ドキドキといった感情)で、自分がドラマや映画の主人公のような気持ちでした。今でも流れる夜景の中で、本を読んでいた姿が思い出されます。(後略)

何を伝えたかったかと言うと、せっかくの長い休みなので、学校では味わえない体験ができるとよいなあということです。しかし、特別変わったことをしてほしいということでもありません。これまでしたことがなかったことにチャレンジしてほしいということです。(お話しの中では「夕飯作り」や「スイーツ作り」、日曜大工、42日間毎日同じことをし続けること、本を42冊読むこと、科学工夫工作や科学論文に没頭することなどに触れました)



今年の夏休みは「こんなことで充実したぞ!」という体験ができればよいと思っています。ぜひ「この夏休みベスト1」を計画し、実践してほしいと思います。ご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。充実した夏休みになることを願っています。

保護者の皆様には、1学期大変お世話になりました。皆様のご支援のおかげで、無事に1学期を終了することができました。ありがとうございました。

明日から夏休みになります。9月1日に元気な姿で会うことができるよう、どうぞよろしくお願いいたします。 ※裏面もご覧ください。